



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
98.5.28 (222) 4792 No.

新ガイドライン

関連法案の国会成立を阻止しよう!

-5/24つぶせ! 「周辺事態法」許すな! 自衛隊法改悪全国総決起集会-



五月二四日、東京・芝公園において、「つぶせ! 周辺事態法」許すな! 自衛隊法改悪全国総決起集会」が反戦共同行動委員会の主催により開かれた。四月二八日に新ガイドラインの関連法案として「周辺事態法」案、自衛隊法の改悪案が閣議決定され、また、ACSA(日米兵たん支援相互協定)の「周辺事態」への適用という有事ACSAへの改悪が調印された。またすでにPKO派兵法の改悪案も国会に提出されている。こうしたなか、全国各地から戦争への急速な動きに反対する労働組合・労働者・市民ら二二二〇人が集まった。



〇人が集まった。

これまで反戦・反基地闘争を闘ってきた三里塚反対同盟、北富士忍草母の会、そして組対法反対共同行動から連帯のあいさつが行なわれ、百万人署名運動からは中島誠事務局長や各地の地域連絡会から、さらなる運動の展開がよびかけられた。

新ガイドラインと対決する沖縄

沖縄からは、ヘリポート基地建設阻止協議会・辺野戸命を守る会の西川征夫さんやヘリ基地反対市民投票原告団・名護市民の会の安次富浩さん、知花昌一さん、宜保幸男さんから発言が行なわれた。

西川さんと安次さんは、名護ヘリ基地建設が困難になつていくなかで、キャンプ・シユワーブ陸上案も出てきている。陸上

時ふり雨のぱうつくなか

▲全国から二二二〇の人が集った

案が出たら、キャンプ・シユワーブ基地撤去の運動を開始すると訴えた。

知花さんは、五月一九日の沖縄基地収用委員会が、基地の土地使用申請を実質的に却下したことを報告。この間の運動の成果ととらえると同時に、沖縄特措法に対する闘いを組み直していくことを訴えた。さらに名護―普天間―沖縄全土で新ガイドラインと有事体制に反対する闘いが行なわれていることが報告された。

宜保さんは、五・一五―一七の基地包囲行動の闘いを報告し、インドネシアの学生運動になぞらえて、学生運動、労働運動、市民運動をあわせて六〇年安保の時のような大きな闘いを生み出そうと訴えた。

基調報告を滝口誠事務局長が行い、周辺事態法の国会成立阻止にむけて夏から秋のたたかいの方針が提起された。

各地域、団体からの決意ののち、中野洋代表が閉会のあいさつを行い、デモに出発した。



▲勳輪旗をひるがえして雨まじりの中、都心もデモ
▲デモの先頭にはつぶせの旗(右から西川、安次、知花)

関連法案の国会成立許すな!

国会審議は、「日程的に困難」といながら、臨時国会や会期延長などが目論まれており、すきあらば関連法案の強行突破をはかろうとしている。夏から秋にむけて気をゆるめず、国会成立を絶対に阻止しよう!